



## 2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月10日

上場会社名 株式会社 吉野家ホールディングス  
コード番号 9861 URL <https://www.yoshinoya-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 泰貴

問合せ先責任者 (役職名) グループ財務経理本部長 (氏名) 石原 浩晃

TEL 03-5651-8800

四半期報告書提出予定日 2024年7月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	47,542	7.4	880	38.6	1,238	24.6	681	33.5
2024年2月期第1四半期	44,278	9.9	1,434	225.6	1,642	24.3	1,024	29.8

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 1,295百万円 (11.1%) 2024年2月期第1四半期 1,165百万円 (38.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	10.54	
2024年2月期第1四半期	15.84	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	113,817	61,497	53.6
2024年2月期	112,936	60,849	53.4

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 60,992百万円 2024年2月期 60,360百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期		8.00		10.00	18.00
2025年2月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100,000	9.1	3,500	12.2	3,700	14.9	2,000	30.6	30.92
通期	203,000	8.3	7,000	12.2	7,400	14.0	4,100	26.8	63.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	65,129,558 株	2024年2月期	65,129,558 株
期末自己株式数	2025年2月期1Q	433,759 株	2024年2月期	433,625 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	64,695,745 株	2024年2月期1Q	64,679,971 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 8
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 8
(セグメント情報等) .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、前年5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを5類に移行したことにより、社会経済環境がポストコロナへ移行し、経済活動の正常化が進みました。その一方で、ウクライナ情勢の長期化などの緊迫した世界情勢の動きに加え、円安によるエネルギー資源や原材料価格の高騰などにより、依然として景気の先行きは不透明な状況です。外食業界においては、経済活動の正常化による人流増加に加え、インバウンドの回復も追い風となり、外食需要は回復基調が継続しています。しかし、原材料価格や人件費の上昇に加えて、継続的な物価上昇により消費者の節約意識が高まるなど、厳しい経営環境に直面しています。

このような状況下において、当社グループは中期経営計画「進化」と「再生」の実現に向け、「既存事業の業態進化」「成長事業の強化」「M&A機会の探求」に取り組んでいます。

当社グループの既存事業の取り組みとして、吉野家は既存店舗の積極的なクッキング&コンフォート改装、はなまるは商品の磨きこみ(てんぷら粉の改良等)、サービス力の強化を行い、他社とのさらなる差別化を図るとともに料理そのものの価値だけでなく飲食空間としての価値の向上に注力しています。また、「吉野家」「はなまる」におけるクレジットカード端末の導入など、店舗運営のシステム化を積極的に進めています。成長事業と位置付けている海外においては、アメリカのオペレーション効率化を目指した改装強化、中国のメニュー構成の見直しなどに継続して取り組んでいます。これらの施策の効果により当第1四半期連結累計期間における全社既存店売上高は、前年同期比4.9%増となりました。内訳は吉野家5.5%増、はなまる9.4%増、海外2.7%減(現地通貨ベース)です。また、昨今の原材料価格の高騰に対処するため、商品ラインナップやクーポンなどの各種販売促進施策の見直しを図っています。人件費上昇への対応策として、店舗オペレーションの生産性向上による人件費コントロールや本社業務の効率化に取り組んでいます。M&Aにつきましては、新たなポートフォリオの構築を目指し2024年5月に、ラーメンスープ・麺の製造開発メーカーである宝産業株式会社の株式を取得しました。

当社グループは、持続可能な社会の実現に向け、サステナビリティの取り組みを全社的に検討・推進する組織として「サステナビリティ推進委員会」(委員長:代表取締役社長)を3月に設置しました。2030年度を最終年度としたモニタリング可能なマテリアリティのKPIの設定により、当社グループ全体でサステナビリティの更なる推進に取り組んでいきます。

また人材の確保と定着を目的として、3月より正社員の賃金および新卒初任給の引き上げを実施しました。

店舗出店については、国内12店、海外24店を出店した結果、当社グループの店舗数は2,772店舗(国内1,770店、海外1,002店)となりました。

以上の結果により、売上高は475億42百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益8億80百万円(前年同期比38.6%減)、経常利益12億38百万円(前年同期比24.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億81百万円(前年同期比33.5%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント概況につきましては、次のとおりです。

#### [吉野家]

当第1四半期連結累計期間の店舗数は、8店舗の出店、5店舗の閉店を実施し1,232店舗となりました。同期間中は、商品施策として「親子丼」「バターチキンカレー」、販売施策としては「吉野家クロミ化計画」「吉野家×きかんしゃトーマス」のコラボキャンペーンに加え、牛井に次ぐ第二の柱と位置付けているから揚げについては5月に「から揚げ祭」を行い、販売構成比15.4%を達成しました。

以上の結果により、セグメント売上高は318億19百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

セグメント利益は、人材の確保と定着を目的とした先行的な賃上げや店舗の時給改定など人件費を中心としたコスト上昇により10億24百万円(前年同期比34.9%減)となりました。転換を進めている新サービスモデルの店舗数は前期末412店舗から430店舗と18店舗増加し、テイクアウト・デリバリー専門店と同37店舗から39店舗となりました。

[はなまる]

当第1四半期連結累計期間の店舗数は、3店舗の出店、5店舗の閉店を実施し416店舗となりました。同期間中は、商品施策として「ゆず牛肉つけ麺」「魚介豚骨つけ麺」、販売施策としては「春の天ぷら定期券」を行いました。

以上の結果により、セグメント売上高は76億48百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

セグメント利益は、原材料費、人件費を中心としたコスト上昇はあるものの増収により吸収し6億57百万円（前年同期比21.8%増）となりました。新コンセプト店（Beyond Hanamaru）は、「健康」をテーマとし3店舗で検証を開始しました。

[海外]

当第1四半期連結累計期間の店舗数は、24店舗の出店、16店舗の閉店を実施し1,002店舗となりました。エリア別概況は次のとおりです。アメリカは既存店売上高前年同期比0.0%減、中国は同10.3%減、その他アセアン地区は同6.5%減、海外合計は同2.7%減（現地通貨ベース）となりました。特に中国は経済不況の影響が外食産業にも大きく影響し、米国（カリフォルニア州）においてもファストフード店の最低時給が25%の大幅増加に改定されたことに対して、ファストフード各社が価格政策を行い、その影響によって客数に影響が出始めています。

以上の結果、セグメント売上高は為替等の影響により68億50百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

セグメント利益は、原材料費、人件費を中心としたコスト上昇もありますが、コスト低減活動および為替等の影響により4億69百万円（前年同期比12.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8億81百万円増加し、1,138億17百万円となりました。これは主として、有形固定資産の増加38億71百万円、商品及び製品の増加9億47百万円、流動資産のその他の増加5億88百万円、受取手形及び売掛金の増加3億65百万円、現金及び預金の減少48億95百万円によるものです。

負債総額は前連結会計年度末に比べ2億33百万円増加し、523億20百万円となりました。これは主として、1年内返済予定の長期借入金の増加59億62百万円、支払手形及び買掛金の増加8億14百万円、長期借入金の減少53億9百万円、未払法人税等の減少11億31百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ6億47百万円増加し614億97百万円となり、自己資本比率は53.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）は、既に公表しておりますものから修正は行っておりません。なお、当該業績予想は、当社グループが現時点までに入手可能な情報から判断して、合理的であるとした一定の条件に基づいたものです。実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	27,346	22,451
受取手形及び売掛金	5,061	5,427
商品及び製品	3,111	4,059
仕掛品	54	59
原材料及び貯蔵品	4,298	4,435
その他	4,075	4,663
貸倒引当金	△196	△299
流動資産合計	43,751	40,796
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,669	26,677
使用権資産（純額）	6,939	7,085
その他（純額）	12,355	15,073
有形固定資産合計	44,965	48,837
無形固定資産		
のれん	1,131	1,452
その他	1,657	1,550
無形固定資産合計	2,788	3,003
投資その他の資産		
投資有価証券	2,534	2,797
差入保証金	11,020	11,118
繰延税金資産	2,230	2,290
その他	5,974	5,593
貸倒引当金	△331	△619
投資その他の資産合計	21,430	21,180
固定資産合計	69,185	73,020
資産合計	112,936	113,817

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,522	6,337
短期借入金	1,655	2,056
1年内返済予定の長期借入金	7,192	13,154
リース債務	2,209	2,376
未払法人税等	1,701	570
賞与引当金	1,209	1,767
役員賞与引当金	6	11
株主優待引当金	301	418
資産除去債務	97	61
その他	10,949	9,408
流動負債合計	30,847	36,162
固定負債		
長期借入金	9,535	4,225
リース債務	8,025	8,038
退職給付に係る負債	244	248
資産除去債務	2,778	2,874
関係会社事業損失引当金	9	20
その他	645	750
固定負債合計	21,239	16,157
負債合計	52,086	52,320
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,265	10,265
資本剰余金	11,357	11,357
利益剰余金	40,260	40,294
自己株式	△531	△532
株主資本合計	61,351	61,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	20
為替換算調整勘定	△969	△373
退職給付に係る調整累計額	△40	△40
その他の包括利益累計額合計	△991	△393
非支配株主持分	489	505
純資産合計	60,849	61,497
負債純資産合計	112,936	113,817

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	44,278	47,542
売上原価	15,587	16,696
売上総利益	28,691	30,846
販売費及び一般管理費	27,256	29,966
営業利益	1,434	880
営業外収益		
受取利息	46	33
受取配当金	0	0
賃貸収入	89	78
持分法による投資利益	133	183
雑収入	142	246
営業外収益合計	413	541
営業外費用		
支払利息	83	74
賃貸費用	70	64
雑損失	51	43
営業外費用合計	205	183
経常利益	1,642	1,238
特別利益		
固定資産売却益	0	23
受取補償金	142	-
特別利益合計	142	23
特別損失		
固定資産除却損	26	25
減損損失	128	112
契約解約損	4	3
貸倒引当金繰入額	-	13
関係会社事業損失引当金繰入額	-	10
特別損失合計	159	165
税金等調整前四半期純利益	1,624	1,097
法人税、住民税及び事業税	797	434
法人税等調整額	△204	△30
法人税等合計	593	404
四半期純利益	1,031	692
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,024	681

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	1,031	692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	121	579
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	12	21
その他の包括利益合計	134	602
四半期包括利益	1,165	1,295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,154	1,278
非支配株主に係る四半期包括利益	10	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	吉野家	はなまる	海外	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	29,395	7,284	6,219	42,899	1,379	44,278	—	44,278
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	271	56	—	327	291	619	△619	—
計	29,666	7,340	6,219	43,226	1,670	44,897	△619	44,278
セグメント利益	1,573	539	417	2,531	76	2,607	△1,172	1,434

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社12社を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,172百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,214百万円、セグメント間取引消去57百万円及びのれんの償却額△15百万円が含まれています。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	吉野家	はなまる	海外	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	31,529	7,600	6,850	45,980	1,561	47,542	—	47,542
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	289	48	—	337	316	653	△653	—
計	31,819	7,648	6,850	46,317	1,878	48,196	△653	47,542
セグメント利益	1,024	657	469	2,151	51	2,203	△1,322	880

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社12社を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,322百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,365百万円、セグメント間取引消去58百万円及びのれんの償却額△15百万円が含まれています。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。